

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ツリークライミング導入による望月城跡の恵まれた自然の活用と新たな魅力の創造
事業主体 (連絡先)	NPO法人望月まちづくり研究会 (佐久市望月 106-6 電話 0267-53-2110 理事長 竹内健治)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,091,000円 (うち支援金818,000円)

事業内容

- ツリークライミング体験講習会の実施
 - 第1回 06月29日 午前8名 午後 雷雨で中止
 - 第2回 08月02日 午前6名 午後 7名
 - 第3回 10月11日 午前6名 午後 5名
- ツリークライミング体験会実施と波及効果及び特殊伐採技術の有効性実証
- クライミング備品の整備で参加者負担軽減
- 他団体との連携や自然体験会を同時開催
- のぼり旗の設置

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 体験による達成感で自己の自信が育まれ、体験者の再度申込みで、友達を誘って来てくれたことや、今後も参加したいとの要望が数名あり継続性が見込めた。
- ツリークライミング体験会実施の波及効果及び特殊伐採技術の有効性
 - 会場の準備は危険な枯れ枝の除去や草刈り作業等が伴いクライミング体験会を継続することで、会場準備段階から城跡の整備と管理も持続できた。
 - 特殊伐採技術は伐採困難(閉所)作業の場所や電線や通行車両に配慮が出来ることを実証し、新聞にも紹介された。
- 備品確保は参加者負担軽減で参加募集が容易になった。
 - 備品を購入することで体験会参加費用を抑え参加者を増やすことが出来た。
 - 参加金軽減で募集が容易になり、特に小学校へのチラシが有効的であった。
- コラボ事業
 - 付き添いの人も、親子とも楽しめる事業の場となった。
 - 他団体の写真倶楽部の一人が体験会の写真でコンクールに入選した。
 - 東京の「月の会」を城跡に案内、地域の観光案内に利用できた。
又、地域の人を含めた交流会が持てた。(参加者50名)
- のぼり旗の設置
 - 体験会会場への案内ルートや駐車場からの誘導がスムーズにできた。
 - 望月宿から城跡を見上げるとのぼり旗が目を引きいた。
 - 七陽の家紋は、望月氏の話に触れるきっかけとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

城跡を里山としての利用を進めることで、地域の絆や地域意識の高揚に寄与し、望月特有の歴史を含め、観光資源としてまちづくり活動に活かしてゆく。
城跡整備推進・大会誘致・他団体協力化・体験会継続・ボランティアガイドの活用・クライミング技術普及及び林業への活用(樹木診断、枝打ち、伐採)等



【体験会の様子】

【目標・ねらい】

- ① 体験会の普及と城跡の管理
- ② 参加者負担軽減
- ③ 技術の応用
- ④ コラボ事業での効果
- ⑤ 地域意識高揚、地域興し

※自己評価【A】

【理由】体験会は城跡整備を伴い、今後の研究会活動継続の基盤強化になった。又、城跡での展開や交流で、インパクトがあり、地域興しに貢献できた。さらに技術の応用で樹木の剪定に事業展開が可能で、持続性が見込めた。